

—北郷町 旧木下家住宅—

4月16日に勝山市北郷町伊知地にあります県指定文化財「木下家住宅」が国の重要文化財に指定されることが文化庁から発表されました。

旧木下家は今からおよそ170年前の江戸時代終わり頃に建てられた茅葺き民家で、かつて庄屋を務めた家でもあります。

現在、勝山市には、国指定文化財が3件あり、その内2件は平泉寺区にあります。国史跡「白山平泉寺旧境内」と国名勝「旧玄成院庭園」です。この他、大野市から福井市にかけての九頭竜川が、国の天然記念物「アマガハコ生息地」に指定されています。今回の発表により、勝山市の国指定文化財は4件となりました。



旧木下家住宅（村田信夫氏撮影）



平泉寺観音堂北側の「平泉寺旅館」建設に伴う発掘により、地中から出土したものです。

ヒント

- ①. 割れており、幅、長さともに1cm程度の大きさです。もとは5cm程度の長さがあったと考えられます。
- ②. 型にはめて作られており、「書」という文字が浮かび上がっています。
- ③. 赤い色をしています。

答えは最下段！

越前禅定道探訪記 その6

白山伏拝（はくさんふしおがみ）

法恩寺山頂から白山伏拝のピーク（1,360m）へは、尾根上に付けられた道を約700m歩くことになる。道のすぐ近くまでスキーコースが迫る。

白山伏拝は、その名のとおり白山を遙拝した場所であり、平泉寺白山神社所蔵の白山天嶺境内図には鳥居が描かれている。

現在、白山伏拝は、経ヶ岳に向かう登山道の途中に設けられた休憩所となっているが、昔は、ここからまっすぐ御前峰を正面に見て祓川（はらいがわ）への急斜面を下った。しかし、この坂の先は、やせた尾根となっており、途中岩場が行く手をふさぐため、大変危険であり通行はできない。



赤い墨。硯、筆架（ひっか）とともに出土しており、添削用の墨か。

平泉寺かわら版

No. 19 (2010年4月号)

【発行】  
勝山市教育委員会史蹟整備課  
【発行日】  
平成22年4月22日  
【ご意見・ご要望は下記まで】  
電話：0779-88-8113(直通)  
メール：shiseki@city.katsuyama.lg.jp

今号の内容 特集！

発掘・整備2010

連載

- ★ 世界遺産へ向けて
- ★ 平泉寺こぼれ話～第18話～
- ★ 発掘現場通信



菩提林の清掃

さる4月11日早朝、小雨のなか平泉寺白山神社で春の一斉清掃が行われました。今回は、区民約120名、市民ボランティア8名、市役所ボランティア52名が参加し、境内から下馬大橋まで積もった落葉を取り除きました。

この清掃によって、「日本の道百選」に選ばれている菩提林の石畳道や「かおり風景百選」、「美しい日本の歴史的風土百選」に選ばれている境内がとてもきれいになりました。これからも、すばらしい景観を守り伝えていきたいと思います。



境内の清掃

へいせんじ そうごうよいびきせいぜんじん ぼっくう せいび  
**平泉寺総合整備最前線！～発掘・整備2010～**

平泉寺の総合整備活用推進事業は、5年計画の3年目を迎え、整備のための工事も本格化してきました。今回は、今年度の主な発掘調査と整備工事の予定について特集します。

**②僧坊区画3東側の調査**

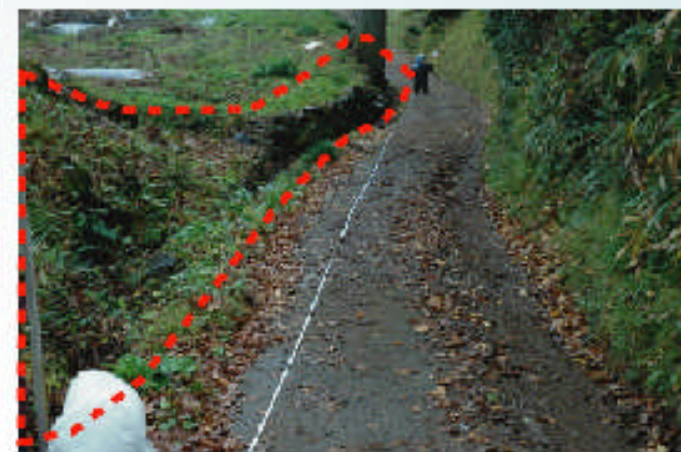
僧坊区画3は、平成18年度に発掘調査を行いました。今年度は、夏～秋頃に区画東側と東側斜面を調査します。  
 この結果をもとに、平成24年度に整備を予定しています。



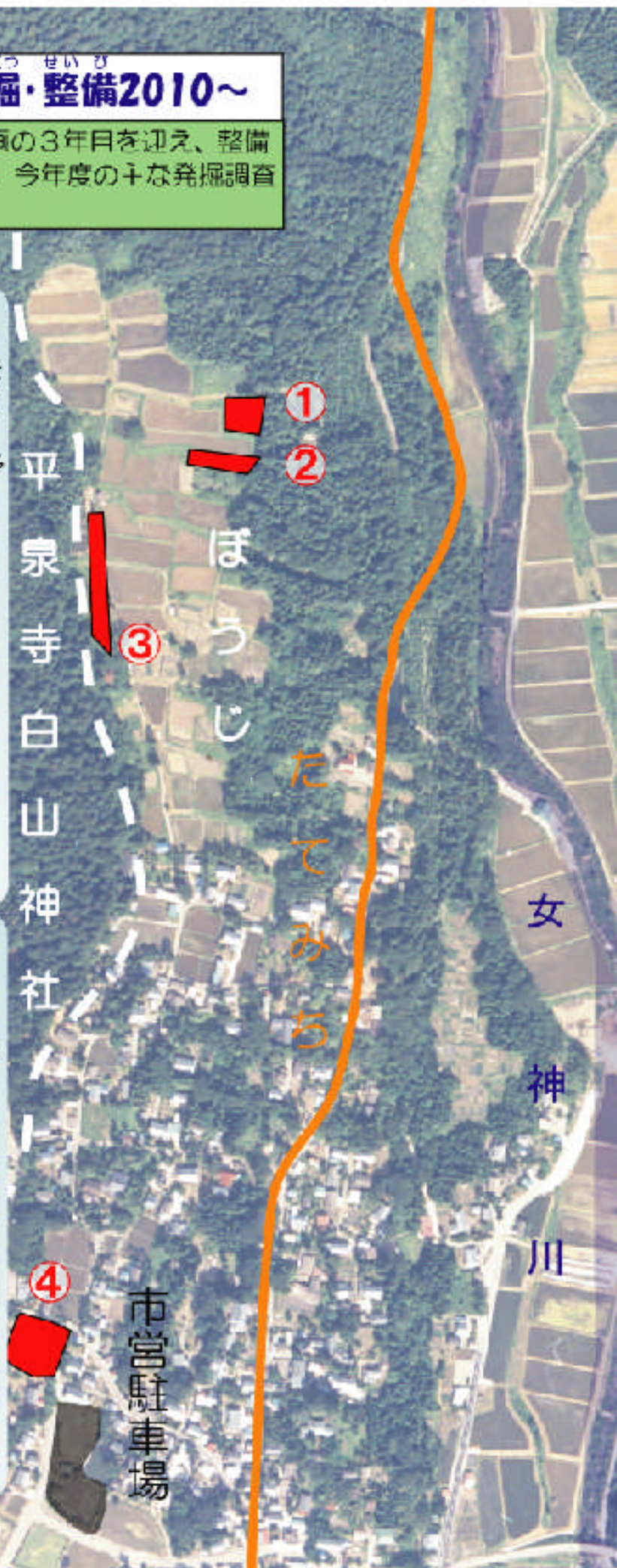
僧坊区画3の発掘予定地

**③水路Cの調査**

西蓮院から流れ出る水路の幅を広げ、道路に水があふれ出るのを防ぎます。  
 今年度は、夏頃に発掘調査を行い、24年度に工事を行う予定です。



水路Cの発掘予定地



**①門・塀復元の調査・設計**

一昨年から行ってきた発掘調査の成果をもとにして、設計を進めていきます。設計は、文化庁や専門家の指導を参考にしながら、今年度中の完了を予定しています。また、区画内に排水路をつくるために、夏頃に発掘調査を行う予定です。なお、復元工事は、24年度の完成を目指しています。



門・塀の復元完成予想図

**④ガイダンス施設建設工事**

平泉寺への来訪者を迎えるガイダンス施設は、設計が完了し、今年度から本格的な工事を開始します。平成24年秋頃にオープン予定です。



ガイダンス施設の完成予想図

③